

中部人懇通信 No.5

幼児教育
関係者対象

平成27年11月13日(金)に、保育所(園)・認定こども園等の副所(園)長、園長補佐、部長、主任等を対象とした中部地区人権教育懇談会を開催しました。その内容を報告します。

実践発表「人権保育の充実した取組に向けて」～全職員の共通理解・共通実践を通して～

倉吉市立高城保育園 園長 泉 孝子 さん 5歳児担任 川福 綾 さん

人権保育の取組を全職員のものとするために、園の職員構成や実態に合わせて工夫された園としての取組やクラスでの取組について発表していただきました。

1 平成26年度の取組

- 「久米中学校区同和教育研究会」の取組を園で生かす
- 全職員の取組とするための工夫(4コマまんがの作成)
- 大切にしたいこと・・・保育者同士の連携と職員の人間関係作り



2 平成27年度の取組

○園内研修の充実について～職員の共通理解・共通実践に向けて～

- ・倉吉市保育園職員等基本研修 → 参加できなかった職員に向けて、園内でも研修を行う
- ・園の重点目標「友達同士で思いを伝え、認めあいながら遊びを深める」
「遊びを深める」について → 大切にしたいことをKJ法で出し合う(全員参加・グループで)
→ 明日から心がけたいことを考える → 個人でテーマを決める
→ その日の実践や感じたことを記録する → ミーティングで発表する(1か月間続ける)

○5歳児クラスの取組

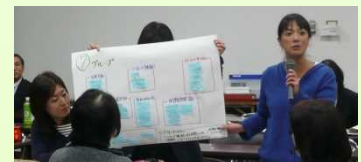
- ★目指す子どもの姿 ・自分の思いをお互いに伝え合える ・いろいろな友だちと遊べる
- ★5歳児保育目標の設定 「子どもの表現を大切に一緒に遊ぶ」～小集団遊びを通して～
 - ・目標をたて意識して取り組む → 子どもの姿や発言を大切に受け止め考えることができた
 - ・子どもが「しよう」と言った遊びを一緒に楽しむ → 遊びがいつもより盛り上がった
 - ・小集団での関わり → 自己発揮へつながった
 - ・小集団から1つの集団へ → 友だち同士で1つの遊びを楽しむ姿が増えた

○取組を振り返って大切にしたいこと

- ・自分の保育や自分の思いが語れる保育者 → 学び合いのできる保育士集団へ

グループ協議 「園の人権保育テーマの実現をめざし、全職員の共通実践にするための取組」

各園の取組と成果・課題、実践発表から学んだことから、今後の取組について協議しました。協議はグループに分かれ、KJ法を使って行いました。



【参加者の感想より】

- KJ法の活用、目標設定、記録、ミーティングでの発表等、具体的な取組が参考になった。
- 保育者自身の人権感覚の大切さ、職員のチームワークや認め合い、保育環境の大切さを感じた。
- 協議は、話しやすい雰囲気、共通のテーマをもとに他園の取組や悩みも話し合えて良かった。
- 若手の保育者の日々の実践を認め、褒めることから、人権保育への意識につなげていきたい。

【まとめ】

実践発表では、園の重点目標をもとに全職員が自分の目標を立て、日々の保育実践に結びつけた取組を伺うことができました。また、職員の共通理解・共通実践のための工夫した取組も参考になるものであったと思います。実践発表・グループ協議からの学びを、各市町や各園の実態に合わせた取組に生かしていただきたいと思います。